

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

- ・1 1 アプリコット F 1 / F 1 A (TCF4510E, 4510EAM, 4511E, 4511EAM 他) ・
- ・1 1 アプリコット F 2 / F 2 A (TCF4520E, 4520EAM, 4521E, 4521EAM 他) ・
- ・1 1 アプリコット F 3 / F 3 A (TCF4530E, 4530EAM, 4531E, 4531EAM 他) ・
- ・1 1 アプリコット F 4 / F 4 A (TCF4540E, 4540EAM, 4541E, 4541EAM 他) ・
- ・1 1 アプリコット F 5 / F 5 A (TCF4550E, 4550EAM, 4551E, 4551EAM 他) 用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

正規品	(タイプ 1) 1	(タイプ 2) 2	正規品	(タイプ 1) 1	(タイプ 2) 2
(タイプ 3) 3	(タイプ 4) 4	(タイプ 5) 5	(タイプ 3) 3	(タイプ 4) 4	(タイプ 5) 5

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、[TOTOメンテナンス](#)へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

<<本体側の設定方法>>

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

手順

作業の前に...

特殊モード設定作業はベースプレートからウォシュレットを取り外しても作業ができます。狭いトイレなどの場合は、ベースプレートからウォシュレットを取り外しての作業をお勧めします。

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 1

本体操作部の **運転** 入/切 を手順3まで押し続ける。

10秒後に本体の全表示ランプが5秒間点灯します。

ランプ表示部

この間5秒

＜下図は例です＞

ランプが点滅(緑色)したら最初からやり直してください

手順 2

運転 入/切 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)すると、**すぐに** **ビデ** 入/切 を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

※途中で失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。

手順 3

運転 入/切 を押したまま、**おしり** 入/切 スイッチを押す。

おしり 入/切 を押す度に標準→特1→特2…

特9→標準と設定が切り替わります。

本体表示部

●…緑点灯 ▲…橙点灯 ×…消灯

設定	運転	便座	節電	設定	運転	便座	節電
標準	●	●	●	特5	×	●	×
特1	×	●	●	特6	●	×	×
特2	●	×	●	特7	●	●	▲
特3	×	×	●	特8	×	●	▲
特4	●	●	×	特9	●	×	▲

手順 4

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

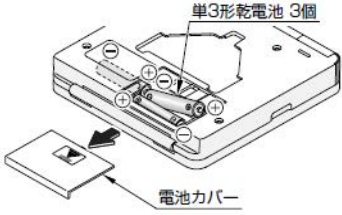
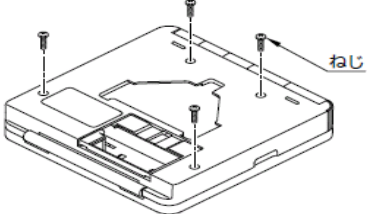
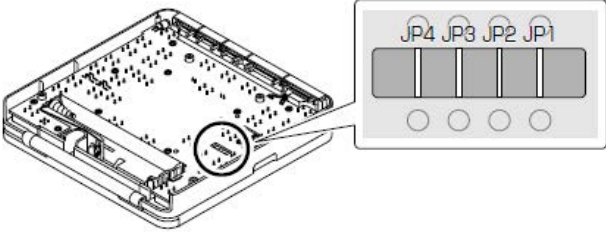
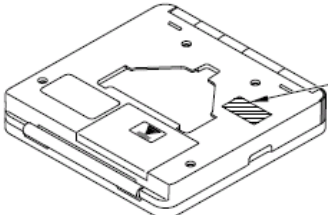
運転 入/切 から手を離れた時点で設定したコードになります。

手順 5

ウォシュレット本体の背面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																								
1		<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 ③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (電源が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p>ご注意!!</p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																																							
2		<p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではなく、裏板を取りはずす。</p>																																																							
3		<p>ご注意!!</p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" data-bbox="253 1070 1046 1272"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上的の3本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																															
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																															
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																															
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																															
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																															
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れてリモコンを取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																								
5		<p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)